

ときかわお葬式なんでも相談室

おじぞうさんの独り言

2019年 春号 Vol. 42

発行

総合葬祭・想々ホール

合資会社 ときかわ

静岡県三島市中央町3-24

電話 055-975-0182

fax 055-973-3011

編集：日本葬祭アカデミー

『元号』の文化

元号は天皇の「一世一元」をもとにして受け継がれてきました。明治以前は単純に年号として、時代の成り行きで変えていったこともあり。そう言った中で、最も期間の長かった元号は「昭和」の62年間です。逆に最も期間の短いのは「暦仁」（りやくにん）で、これは1238年11月23日から翌年の2月7日まで。鎌倉時代ですね。この時代の天皇は四条天皇、幕府の将軍は藤原頼経、執権は北条泰時です。

改元の理由は「言葉のイメージが良くない」と云う風評説や詔書では「変災」を理由にしていますが、この期間、とくに天災のような大きな出来事は記録にありません。

◆平成が終わって…

私たち昭和世代の祖父母は、『明治』『大正』『昭和』の三つの元号、人によっては『平成』の4元号を経験した人もいます。

振り返ってみると『平成』は1989年1月8日から始まっています。今上天皇は125代目で、今年、皇太子の即位をもって『平成天皇』と称されるようになります。

このように新天皇の即位をもって改元するのは伝統的な日本の文化ですが、その字数や典拠、また漢字のもつ意味や表徴、音階なども考慮され、加えて国民に平易でわかりやすいものにする事など、いろいろな制約や選定条件があるようです。

明治・大正・昭和・平成

◆元号のはじまり

元号の最初は『日本書紀』から「大化」（645年）とされ、701年「大宝」以降は継続的に元号使用が用いられました。

◆さて新元号は…

但し庶民的に普及したかどうかは当時としては不明です。市井では干支を組み合わせた60年周期暦が一般的で、あまり元号にはこだわっていないようでした。ちなみに2019年の干支は「いのしし」ですので、今年が「己亥」（つちのこ）となり、前の「己亥」は1959年（昭和34年）今度の「己亥」は2079年となります。

新元号の予想なども過熱気味で、ある生命保険会社のアンケートによりまずと第1位が「平和」、2位は「和平」、3位は「安久」、4位は「未来」、だそう。生前のご退位と新天皇の即位が慶事であるので、はしやぎすぎないようになりたいものですが、「元号文化」は私たちの民族意識として、関心があり、こだわっていききたい生活文化です。



世界のそれぞれの国には、風土や宗教に順じた固有の暦があります。それを尊重することこそ、異文化理解の前提です。西暦の合理性や利便性だけではなく、あわせて独自の暦を持つことに文化の豊かさを感じます。日本では「高島暦」などまさに生活の暦であり、私たちはその中で、歳回りの運勢や人生の節目、また方角などにもこだわりを持っていきます。六曜などの先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口も気にしていますね。この気になること、こだわることこそ「文化」です。三島にも有名な「三島暦」があります。（室町から江戸時代にかけて三島大社が発行した仮名暦。幕府が伊豆・相模の2国にのみ頒布を許可した。）

最新のお知らせ！ 春のお彼岸！他では聞けない葬祭セミナー開催

日時 3月18日(月) 10:00~11:30
会場 三島市商工会議所 会議室
参加費 無料 申込み先着順(定員有)

テーマ「お墓の現代的問題点！」

～供養観の混迷とお寺～
日本葬祭アカデミー代表 二村祐輔
(東洋大学 非常勤講師)

◆参加特典・各種お役に立つ資料 贈呈

◆ご葬儀は確実に「葬儀社」に委ねられます
誰もが戸惑うのが当たり前。最初の病院搬送から家族葬・直葬などの実務と手順をわかりやすくお話しします。
今回はお墓と供養の問題点を、実務と文化の両面から事前対応の知識を学べます。ご質問もどうぞ～

ときかわ
お葬式なんでも相談室



セミナーお申込み、お問い合わせはどうぞこちら 電話 055-975-0182

第18回

お水取り

◆ 葬祭学入門

心にしみる折々のしきたり

奈良東大寺二月堂の「お水取り」は春を告げる風物詩として有名です。「不退の行法」として千年以上も絶えることなく続いている修行の一つです。いまは三月一日から十四日まで行われていますが、旧暦では二月なので、正式には「修二会」(しゆにえ)と呼ばれています。行の中でも三月十二日深夜に、若狭井(わかさゐ)という境内の井戸から観音さまにお供えする「お香水(おこうずい)」を汲み上げる儀式が通称「お水取り」と云われています。

毎夜、修行僧(練行衆)入堂の際、道明(たいま)として大きな松明(たいまつ)が何本もお堂にかけ上り、懸造りの回廊からその火の粉を振り落とすという壮大な光景が見られます。民信仰ではその火の粉をかぶることで厄災を払い、また燃えカスなどは、持ち帰り、ありがたくお祀りします。お堂の真下はスリル満点です。この松明が駆け上がる時には、下駄の足音が騒々しく響きます。これは「鬼走り」と云われて、この仰々しい踏み込みも邪悪を払う一種の呪術的しぐさとなります。四股を踏むように大仰に踏みつけ、音を立てるのは歌舞伎の「六方を踏む」所作なども、あります。「勸進帳」の弁慶の「飛び六方」などが見せ場として有名です。これらは、「反閉(へんぱい)」といい、主に鎮魂儀礼の所作の原風景と云えます。行法は一日を六つの時に分け、それぞれに悔過作法(けがさほう)・人々の過ちを悔い、平安を祈る法要(ほうぎょう)が営まれます。やがて本格的な春の訪れとなります。



シリーズ ワンポイント お葬式や供養の実務知識

34

【空家と空き家】

監修: 日本葬祭アカデミー

ともに人の住んでいない家のことですが、行政の方は用語的に「空家」、一般的には「空き家」が使用されています。今年最初にセミナーに赴いた福岡県の主催者は、太宰府市空家対策協議会(一般社団法人)で、現在同市では9件に1件が空き家になっているそうです。孤独死や「おひとりさま」について、葬祭の面からお話しました。

朽ち果てていく空き家は、その周辺環境を著しく悪化させています。防犯的な意味や火災、倒壊、あるいは「ごみ屋敷化」など、様々な問題を投げかけています。特に一軒家の場合は、土地の所有権利やその名義変更など、相続が適切にされないまま放置した結果です。

いざ、その対策を迫って指導や勧告しても、多数の権利者がいたり、また権利者が不明の場合も多く、手が出せませんでした。結局、何年も廃屋のまま放置されることとなります。

行政として、「空家バンク」などの再活用情報の発信や平成26年には『空家等対策の推進に関する特別措置法』が施行されました。この法律の目的は、適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている場合に、地域住民の生命、身体又は財産を保護するための処置を行政が代執行できるものですが、実力行使で撤去解体するまでには、なかなか時間がかかるようです。是非事前対応を!



お墓の「空き家」も拡大しています。

春めいて、ひと雨ごとに花の開花が増えてきました。花粉は大丈夫ですか。私たちはだいたいの野原の街道沿いやお寺の境内に立っていることが多いので、あまり気になりませんが、深刻な現代病ですね。そのうちマスクをしたお地藏さんも現れるかも。

先般滋賀県の大津市、琵琶湖南西の長等山中腹に広大な敷地を有している三井寺に出かけました。正式名は「園城寺」(おんじょうじ)といい、「天台寺門宗」の総本山です。すぐ近くには、「天台宗」の総本山、比叡山延暦寺があり、実はこの延暦寺とは、とても激しい争いをしてきました。

闘争の歴史では、延暦寺を「山門」、三井寺を「寺門」と称し天台宗を二分した両派の対立をもとに、源の争乱、南北朝の争乱等、時の政争に巻き込まれ、何度も焼き討ちやその報復など

多くの法難に遭遇しました。三井寺のご本尊様は絶対の秘仏となっていて、数百年の間、見たものはいないということなんです。あまりに醜い争いに、きつとお隠れになったのでしよう。けれども、境内に立つ私たちお地藏さんは、何事もなかったようにいつでも庶民のために救いの手を差し伸べています。安心してくださいね

お地藏さんの独り言



境内の西国霊場に立つ仲間です!

安心の葬儀社 ときかわ 葬儀社選択の要

- ◆ 個人情報管理適格事業所であること!
- ◆ PIP認証(プライベートインフォメーションプロテクト)取得
- ◆ 市民向けの情報発信を継続的にしています!
- ◆ 商工会議所での定期セミナーや会報紙発行(本紙)
- ◆ 信頼のおける事前相談が気軽にできます!
- ◆ 知識豊富な葬祭カウンセラー認定者が対応
- ◆ 病院搬送からご遺体保管まで初期対応も安心です!
- ◆ 専用の斎場ホールを所有・家族葬から一般葬まで



PIP 認証 葬祭情報管理適格事業所の証

安心して相談が出来る葬儀社の証。三島市では当社だけ。個人情報の守秘管理が理念。マイナンバーにも厳重注意! 一般社団法人 日本葬祭情報管理協議会認定

お葬式について何でもお答えします。

お葬式の費用ってどの位かかるの?

自分らしいお葬式にしたい

お葬式なんでも相談室は三島市で、はじめての事前相談室です。生前予約や契約ではありません。

お葬式の事前相談室

もしもの時はフリーダイヤル 0120-100-182